

幼児教育科 主要科目のねらい、特色、内容

保育原理
【ねらい】 「保育」について、目的・基礎となる考え方・内容と方法・幼児教育施設の特徴・歴史的変遷・現状と課題等を学び、基礎的な知識を身に付けることを目的とする。 【特色】 主体的に周囲の環境にかかわりながら日々成長していく子どもの姿を念頭に置き、「保育」について、および保育者のあり方について考える授業を展開している。 【内容】 DVD 教材等を活用して具体的な子どもの行動について観察・協議を行い、子どもにとって必要なもの・情報・援助>についての理解を深めていく。
発達心理学
【ねらい】 発達心理学・教育心理学といった保育に関わる心理学の基本的な知見を理解するとともに、行動科学的な視点を身につける。 【特色】 保育者養成の場であることを鑑みて、乳幼児期の発達と大人による発達援助に力点を置き、また、現実を生きる子どもの姿を発達臨床的に捉える視点を織り込んでいく。 【内容】 生涯発達の視点を踏まえつつ、発達規定因・初期環境・主要な理論や研究・遊びの中での発達・発達援助の基本的な考え方などについて、できるだけ具体的な事例等を用いて講義する。
教育原理
【ねらい】 教育の基本的概念について学ぶ授業であるため、保育者になるために必須の教育理念を理解することを目的とする。 【特色】 教育の本質とは何かを考えるきっかけを得るとともに、過去や世界の教育を知った上で現在の日本の教育を見て、広い視野のもと教育実践に取り組むことができるようになることを目指す。 【内容】 教育原理とは、教育の基本的概念について学ぶ授業である。教育に関する基礎・基本を押さえた上で、西洋と日本の教育の差異やその相互関係についての考察を深め、世界的な教育史の動向を把握する。
健康領域指導法演習
【ねらい】 保育者が保育現場で必要とする「子どもの心身の健康」について理解を深め、保育実践における基本的な視点について学ぶ。 【特色】 子どもの健康に関する基礎理論を学びながら、現代社会で起きる様々な健康に関する諸問題を取り上げて考察する。 【内容】 領域「健康」の内容に沿って、子どもの心身の発育・発達、遊びの意義、食育、生活リズム、基本的生活習慣、自立心の育成、遊びにおける社会性の発達、安全教育、指導案などを扱う。

乳児保育Ⅰ、乳児保育Ⅱ
【ねらい】 乳児保育の変遷を知り、保育所・こども園・乳児院・家庭の現状を確認しながら地域ニーズや保護者対応など現代社会の実態に即した乳児保育の意義、理念、内容、方法、役割等を身につける。 【特色】 講義と演習・グループワーク等によりすすめる。講義では保育場面の映像を活用し、具体的な理解へと繋げる。また、学生同士がディスカッションすることにより乳児保育への理解を深める。 【内容】 乳児を主体に三つの視点における育ちが1歳以上の五つの領域における育ちへと繋がっていくことを意識しながら、子どもの生活や遊びの充実が図られる重要性について具体例を用いて講義する。
幼児体育（運動あそび）・幼児体育（身体表現）
【ねらい】 幼稚園教諭、保育士として幼児を対象に運動遊びやダンス・表現運動などを指導する際の基礎的な理論や指導方法を習得する。 【特色】 主に実技を伴う実践的な授業を行い、模擬授業や発表会制作の実践を通して実際の活動をシュミレーションし、具体的な指導方法や理論学習を深める。 【内容】 子どもの運動あそび・運動発達、子どもの身体表現・表現発達、発表会の運営、ダンス・表現・運動の基礎実技と理論などを扱う。
社会福祉
【ねらい】 社会福祉の全体像について講義を行い、「社会福祉」とは何かを理解し、その体系を知る。 【特色】 保育士必修科目として、1年時講義する。また、保育者として基本学問としてマスターし、個々の学生が興味を持った分野について他の科目と関連させ、学習の機会となることを望んでいる。 【内容】 社会福祉の歴史、制度・政策、援助方法、法体系や組織運営などを取り上げる。
音楽演習A
【ねらい】 保育の場で子どもと一緒に音楽活動ができるようになるため、音楽の基本的な事項を学び、ピアノ演奏技術を向上させ、豊かで多様な音楽活動の可能性を広げていく基礎作りをする。 【特色】 グループレッスンとクラス授業は前半・後半に分けて実施する。グループレッスンでは各学生の弾き歌いの演奏技術を高め、クラス授業では音楽的基礎知識及び、コード理論の講義と演習を行う。 【内容】 基礎的な楽典の知識、コードを使用した演奏技術、アンサンブル演奏などから実践的学びをする。

